

ご利用者各位

禁止行為解除に関する申請書の申請手順について

舞台へスモークマシン・裸火[煙草(電子タバコ、加熱式タバコなども含む)・花火等]・火災予防上危険な物品を持ち込み使用する場合、火災予防条例第28条の規定に従い、所轄消防署への禁止行為解除に関する許可申請が必要となります。

当劇場において禁止行為を行う場合は、消防署へ申請する前に当該使用許可申請書を劇場事務所へ提出してください。

<許可までの手続き>

- ①申請用紙(当劇場、名古屋市のホームページ、市内各消防署にも備えてあります。)に必要事項を記入し、必要な書類等を添付したもの(2部)を消防署へ申請する前に必ず劇場へ提出してください。

【添付書類】

- 禁止行為解除に関する申請書
- 避難誘導及び警備要員編成表
- タイムスケジュール(禁止行為の使用時間がわかるように記載)
- 禁止行為に関する舞台平面図
(裸火使用の場合は、点火から消火までの移動範囲を記載)
(防火対象物品を持ち込む場合は、図中に配置及び防災認定番号を記載)
- 裸火使用の場合:使用品名、使用方法(点火から消火まで)、使用量等を明記した書類
- 危険物使用の場合:使用品名、使用方法、規格、使用量等を明記した書類



- ②劇場にて防火管理者の同意等の確認後、書類を返却いたしますので、所轄の消防署予防課へ申請してください。(原則、公演の1週間前までに申請してください。)

※職員の勤務状況によっては申請がすぐに出せない場合があります。ご来館前に劇場事務室へ一度ご連絡いただいでからご来館いただくようお願いいたします。



- ③消防署へ2部提出後、2日～5日後に認定された書類を受け取りに再度消防署予防課へ行き、1部受け取ってください。(申請書2部の内、消防署にて1部保管され、もう1部が申請者へ返却されます。)



- ④使用当日に認定された申請書をご持参いただき、劇場舞台係員にお渡しください。

※使用日に申請書がないと禁止行為解除した物品がご使用いただけませんのでご注意ください。

禁止行為解除に関する申請書の書き方（例）

第4

~~喫煙所の設置・喫煙~~

~~裸火の使用~~ 禁止行為解除に関する申請書
危険物品の持込み

令和〇〇年〇〇月〇〇日

名古屋市 〇〇消防署長 様

所轄の区の消防署

申請者は主催者（ホール申込者）を記載
※押印は必要ありません

申請者

住所 名古屋市〇〇区〇〇町〇番〇号

株式会社 〇〇〇〇

氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

電話 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

該当しない項目に取り消し線を引く

~~喫煙所の設置・喫煙~~

指定場所における~~裸火の使用~~をしたいので、火災予防条例第28条第1項
危険物品の持込み

ただし書の規定による認定を申請します。

本番日のみ記載（リハーサル日は記載不要）

防火対象物	所在地	名古屋市〇〇区〇〇丁目〇番〇号		
	名称	名古屋市〇〇文化小劇場	業態	公共ホール
認定を申請する行為	期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日から令和〇〇年〇〇月〇〇日まで		
	理由	舞台演出効果のため (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)		
	内容	コンセプトスモークマシンMK-V 1台 シエルオンジナオイル (第3石油類) 0.7ℓ		
行為者	住所	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番地		
	職氏名	〇〇劇団員 〇〇 〇〇		
認定を申請する行為をしようとする場所の状況	別添配置図の通り			
消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要	消火器、水バケツ (屋内消火栓設備、スプリンクラー設備)			
その他必要な事項	消火器を増設するとともに、非常時に対応する人員を配置する。 他の危険物との同時併用は禁止する。			
※ 認定条件				
※ 受付欄		※ 経過欄		

〇〇〇〇は公演名を記載

危険物の種類と量を記載

取扱者の住所・職・氏名を記載
(照明業者や舞台監督など)

他の危険物がある場合は記載

注 1 ※印の欄は、記入しないでください。

2 認定を申請する行為をしようとする場所の詳細図及び当該場所付近の概要図（消防用設備等又は特殊消防用設備等の配置図を含む。）をこの申請書と併せて提出してください。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。